

参考文献

- Iwamoto, K., 1943. "Some Terrestrial Isopoda from Japan". Dobutsu oyobi Shokubutsu. 11: 17-32 (in Japanese).
- Kwon, D.H. 1992. Terrestrial Isopoda (Crustacea), from Korea Korean Zool. 36: 133-158.
- Kwon, D.H. and S. Taiti, 1993. Terrestrial Isopoda (Crustacea) from southern China. Macao and Hong Kong, Stuttgarter Beitr. Naturk. A, 490: 1-83.
- Nunomura, N., 1980. Some terrestrial Isopod Crustaceans from Toyama City, Middle Japan, Bull. Toyama Sci. Mus., 2: 13-21.
- Nunomura, N., 1983. Studies on the Terrestrial Isopod Crustaceans in Japan, I. Taxonomy of the Families Ligiidae, Trichoniscidae and Olibiridae. Bull. Toyama Sci. Mus., 5: 23-68.
- Nunomura, N., 1984. Studies on the Terrestrial Isopod Crustaceans in Japan, II. Taxonomy of the Family Scyphacidae. Bull. Toyama Sci. Mus. 6: 1-43.

- Nunomura, N., 1986. Studies on the Terrestrial Isopod Crustaceans in Japan. III. Taxonomy of the Families Scyphaciade (continued, Marinoniscidae, Halophilosciidae, Philosciidae and Oniscidae. Bull. Toyama Sci. Mus. 9: 1-72.
- Nunomura, N., 1987. Studies on the Terrestrial Isopod Crustaceans in Japan, IV. Taxonomy of the Trachelipidae and Porcelionidae. Bull. Toyama Sci. Mus., 11: 1-76.
- Nunomura, N., 1990. Studies on the Terrestrial Isopod Crustaceans in Japan, V. Taxonomy of the families of Armadillidiidae, Armadillidae and Tylidae. Bull. Toyama Sci. Mus. 13: 1-58.
- Nunomura, N., 1991. Studies on the Terrestrial Isopod Crustaceans in Japan, VI. Further supplements to the Taxonomy. Bull. Toyama Sci. Mus. 14: 1-26.
- Nunomura, N., 1992. Studies on the Terrestrial Isopod Crustaceans in Japan. VII. Supplements to the taxonomy-3. Bull. Toyama Sci. Mus. 15: 1-23.

宇奈月ダム水没地域及びその周辺の木本植物について

若林 一成

938-0864 宇奈月町栃屋530

Some Comments on the Trees Growing around the Unazuki Dam in Toyama Prefecture

Issei Wakabayashi

530 Tochiya, Unazuki Town

はじめに

前報(若林, 1997)で、宇奈月ダム周辺の植物観察記録を報告しましたが、今回は、次の目的で、ダム水没地域の植物のリストを報告します。1) ダム周辺の植生の特徴を把握する。2) ダム周辺の緑化のための樹種選定のための基礎資料とする。3) 将来、観光客を案内する時のダム周辺の案内に役立てる。

調査の方法

- ・ 調査範囲
調査範囲は宇奈月ダム環境巡視路沿いで、主にダム本体上流約3.5km(嘉々堂谷まで)、下流約1.6km(想影橋まで)。標高は約190m~600mである(図1)。
- ・ 調査期間
平成9年4月24日~12月22日
- ・ 調査方法

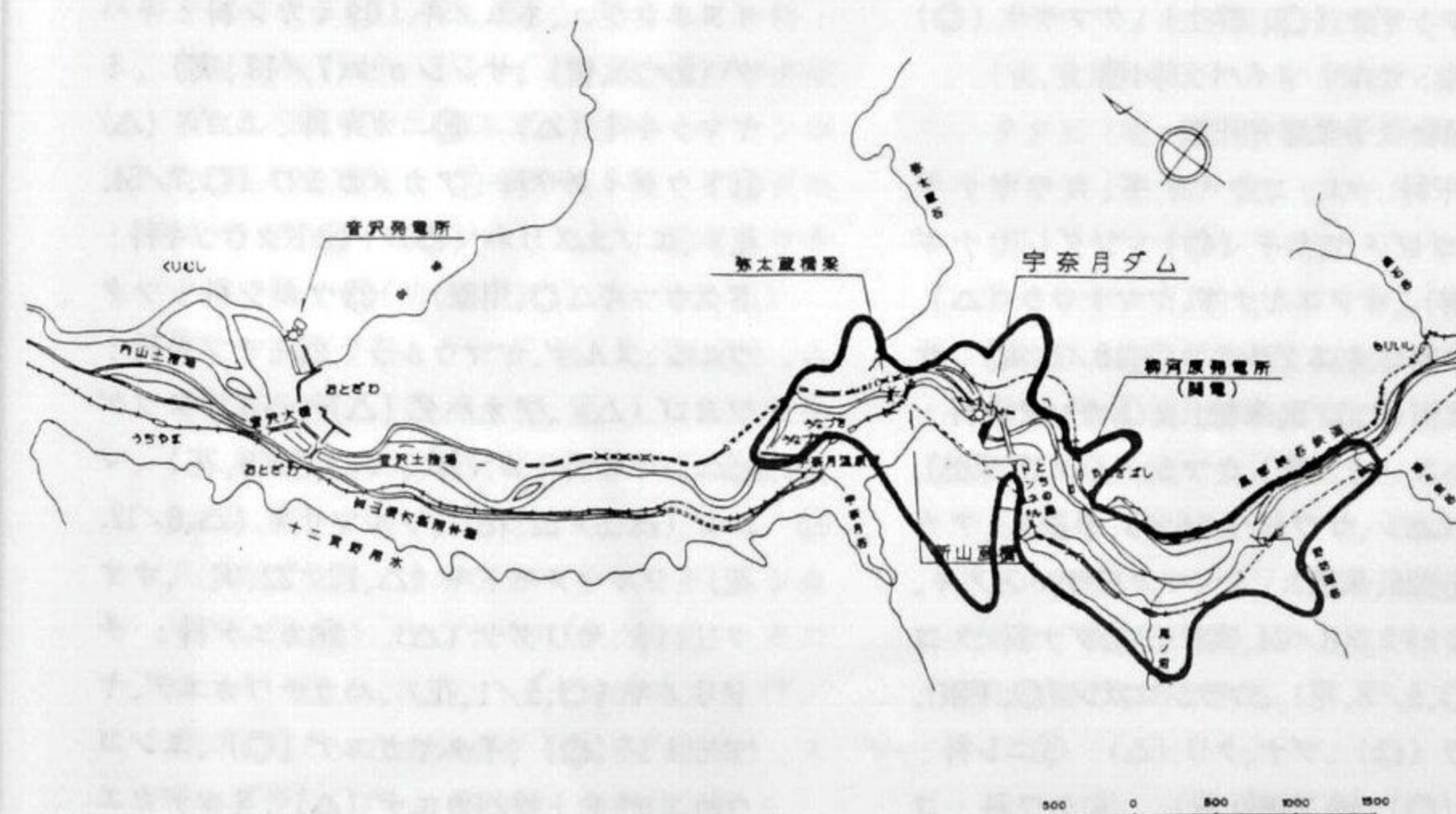


図1. 宇奈月ダム周辺の木本植物の調査範囲(平成9年4月24日~12月22日)太枠内が調査範囲。

①主に花や実をつけている樹や紅葉のきれいな樹木に注目し、その生育地点と生育環境、その時の様子(個体数の多少、開花等)を写真にとり、且つ記録した。

②想影橋下流では余り見られない珍しい樹木に注目した。

なお、「日本の樹木」(山と溪谷社)を参考にした。

調査結果

確認した樹種を、「宇奈月ダム周辺の本木植物リスト」として以下に示す。

括弧内は、多い物◎、少ない物△、月/日、その時の様子、花・実などを次に記す。

(1) 裸子植物:

- ①イチイ科: チャボガヤ(◎、7/31、実) ②イヌガヤ科: ハイイヌガヤ(◎) ③マツ科: ツガ(△)、カラマツ(◎、植林)、ゴヨウマツ(△)、アカマツ ④スギ科: スギ(◎、植林) ⑤ヒノキ科: ヒノキ(△)、ネズ(△)、クロベ(△)等10種

(2) 被子植物単子葉類:

- ①イネ科: チシマザサ(◎、ブナ科の林に群生) チマキザサ(◎、群生)、クマザサ(◎) ②ユリ科: サルトリイバラ等4種

(3) 被子植物双子葉離弁花類:

- ①ヤナギ科: バッコウヤナギ、カワヤナギ(◎)、コゴメヤナギ(◎)、シダレヤナギ(△、植樹)、オノエヤナギ、ヤマナラシ(△) ②クルミ科: オニグルミ(◎、10/2、実)、サワグルミ(◎、6/5、果穂) ③カバノキ科: ケヤマハンノキ(◎)、クマシデ(5/17、果穂)、ミズメ(△)、サワシバ(6/5、果穂)、アカシデ(6/25、果穂)、ミヤマカワラハンノキ、ツノハシバミ(8/24、実) ④ブナ科: コナラ(◎、5/8、花)、ウラジログシ(◎、下限)、ミズナラ(◎)、ブナ、クリ(△) ⑤ニレ科: ケヤキ(◎)、エノキ(△) ⑥クワ科: コウゾ(◎、5/22、雌花)、ヤマグワ ⑦ビャクダン科: ツクバネ ⑧ヤドリギ科: ヤドリギ(△、トチノキの老木に着生) ⑨フサザクラ科: フサザクラ(7/31、実) ⑩カツラ

- 科: カツラ ⑪アケビ科: アケビ(5/1、花)、ミツバアケビ(△) ⑫ツツラフジ科: アオツツラフジ(△、9/18、実) ⑬モクレン科: ホオノキ(8/24、実)、タムシバ(△) ⑭クスノキ科: オオバクロモジ(◎)、ダンコウバイ(◎、12/22、花芽) ⑮ユキノシタ科: ヒメウツギ(5/8、花)、バイカウツギ(5/22、花)、エゾアジサイ(◎、6/12、花)、ツルアジサイ(△、6/12、花)、タマアジサイ(◎、7/24、花)、ノリウツギ(△)、ウツギ(△)、イワガラミ ⑯マンサク科: マルバマンサク ⑰バラ科: モミジイチゴ(◎、4/24、花)、ヤマザクラ(◎、4/24、花)、オオヤマザクラ(5/1、花)、ケカマツカ(△、5/17、花)、ナナカマド(5/22、花)、ノイバラ(◎、6/5、花)、エビガライチゴ(6/12、花)、クマイチゴ(◎、6/25、花)、ナワシロイチゴ(7/24、実)、アズキナシ(◎)、ウワミズザクラ、シモツケ(△)、オクチョウジザクラ、キンキマメザクラ、ウラジロノキ、カマツカ(△) ⑱マメ科: イタチハギ(◎、7/24、花)、ヤマハギ(◎、7/24、花)、ハリエンジュ、ヤマフジ、イヌエンジュ、ネムノキ ⑲ミカン科: キハダ(5/22、蕾)、サンショウ(7/17、実)、ミヤマシキミ(△) ⑳ニガキ科: ニガキ(△) ㉑トウダイグサ科: アカメガシワ(◎、7/54、花)、エゾユズリハ(◎) ㉒ドクウツギ科: ドクウツギ(◎、川原) ㉓ウルシ科: ツタウルシ、ヌルデ、ヤマウルシ ㉔モチノキ科: ソヨゴ(△)、アオハダ(△)、ハイイヌツゲ ㉕ニシキギ科: コマユミ(◎、5/8、花)、マユミ(△、5/22、花)、ツルマサキ(△、6/12、花)、ツルウメモドキ(△、12/22、実)、オオツリバナ、サワダツ(△) ㉖カエデ科: チドリノキ(◎、5/1、花)、ハウチワカエデ、ヤマモミジ(◎)、イタヤカエデ(◎)、エンコウカエデ、ヒトツバカエデ(△)、ミツデカエデ(△)、ウリハダカエデ(8/24、実)、メグスリノキ(△)、コハウチワカエデ、ウリカエデ(△) ㉗トチノキ科: トチノキ(◎) ㉘アワブキ科: アワブキ(6/12、花)、ミヤ

- マハウソ(△) ㉙クロウメモドキ科: ケンボナシ(◎) ㊱ブドウ科: サンカクヅル(5/17、花)、ヤマブドウ(△、7/31、実)、ツタ(9/18、実)、ノブドウ(◎) ㊲シナノキ科: シナノキ(◎、5/8、蕾) ㊳マタタビ科: マタタビ(◎、群生、5/22、蕾)、サルナシ(△、7/17、実) ㊴ツバキ科: ユキツバキ(◎、群生、4/24、花)、ユキバタツバキ、ヒサカキ ㊵キブシ科: キブシ ㊶グミ科: アキグミ ㊷ウリノキ科: ウリノキ(△、6/12、花) ㊸ウコギ科: キツタ(9/11、蕾)、タラノキ ㊹ミズキ科: ヒメアオキ(◎、4/24、雄花)、ミズキ(5/8、花)、ヤマボウシ(△、5/29、花)、クマノミズキ(6/12、蕾)等119種

(4) 被子植物双子葉合弁花類:

- ①ツツジ科: ユキグニミツバツツジ(◎、4/24、蕾)、ヤマツツジ(◎、5/22、花)、ハナヒリノキ(△、6/5、蕾)、アクシバ(△、6/12、花)、ホツツジ(8/7、蕾)、ナツハゼ、レンゲツツジ(△)、イワナシ、ネジキ ②リョウブ科: リョウブ(8/13、花) ③ヤブコウジ科: ヤブコウジ(11/20、実) ④カキノキ科: ヤマガキ(△) ⑤ハイノキ科: サワフタギ(△、8/24、実) ⑥エゴノキ科: ハクウンボク(5/22、蕾) ⑦モクセイ科: アオダモ(5/1、花)、イボタノキ(△) ⑧キョウチクトウ科: テイカズラ(△、6/12、花) ⑨クマツヅラ科: クサギ(◎、7/24、花)、ムラサキシキブ(◎、8/13、実)、コムラサキ(△、植栽、9/25、実)、シロシキブ(△、植栽、9/25、実) ⑩ノウゼンカズラ科: キリ ⑪スイカズラ科: オオツクバネウツギ、ムシカリ(5/8、花)、ヤブデマリ(5/8、花)、タニウツギ(◎、5/8、花)、ミヤマガマズミ(5/17、花)、ヒョウタンボク(△、6/12、実)、スイカズラ、ニワトコ等29種 合計162種。

以上の結果を、次のようにまとめた。

- I. 想影橋下流の平野部及び里山では殆ど見られない樹木

サワグルミ、ケヤマハンノキ、アカシデ、ブナ、フサザクラ、カツラ、ヒメウツギ、バイカウツギ、イタチハギ、キハダ、チドリノキ、エンコウカエデ、ヒトツバカエデ、ミツデカエデ、メグスリノキ、アワブキ、シナノキ、マタタビ、サルナシ、レンゲツツジ、ハクウンボク、ヒョウタンボク等22種。

II. 宇奈月ダム周辺であって上流では殆ど見られない樹木

ウラジログシ、アカマツ、ネズ、アカシデ、ウツギ、アカメガシワ、ソヨゴ、ヒトツバカエデ、ミツバカエデ、エビヅル、ナツツバキ、キリ等14種

III. ダム周辺に自生する名木として推奨したい樹木

オニグルミ(実・食用)、ウラジログシ(常緑樹)、カツラ(彫刻用材、黄葉)、タムシバ(花)、ホオノキ(版画用材、花)、ヒメウツギ(花)、バイカウツギ(花)、ノリウツギ(花)、アズキナシ(樹形)、ヤマザクラ(花)、ナナカマド(紅葉)、キハダ(樹皮・薬用、黄葉)、ハウチワカエデ(紅葉)、ヤマモミジ(紅葉)、メグスリノキ(薬用、紅葉)、サンカクヅル(実、食用)、シナノキ(樹皮・繊維、花)、マタタビ(実・薬用)、ユキツバキ(花)、ヤマボウシ(花、実・食)、ユキグニミツバツツジ(花)、ヤマツツジ(花)、リョウブ(花)、ハクウンボク(花)、ムラサキシキブ(実)、ムシカリ(花)等28種。以上は樹木の花、紅葉、樹形、役用、薬用等の観点より選ぶ。

- IV. ダム周辺上流で良く繁茂し、黒部峡谷の名木であるが、キタゴヨウ、クロベ等の常緑樹は殆ど見られない。ウラジログシは暖温帯の植物のためか、柳河原堰堤より上流では見られず、黒部川上限のようである。

参考文献

- 林弥栄, 1985. 日本の樹木. 752pp. (株)山と溪谷社, 東京.
若林一成, 1987. 宇奈月ダム周辺の高木について. 富山の生物, No.36: 49-56